

ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市櫛引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第15回紅葉ライトアップ・あかり展

深紅に染まる紅葉と、優しさに満ちあふれた心温まる“あかり”を見に来ませんか。川本北小学校児童によるあんどんや、ふかや緑の王国ボランティアが制作した中世ヨーロッパの街並みをイメージした陶芸のオブジェなどを展示します。また、ラバンヌーボ『#チーム灯火』によるキャンドルナイト(展示、販売)も行います。

とき 11月17日(金)・18日(土)午後5時～8時(雨天中止) ※キャンドルナイトは18日のみ

持参品 懐中電灯

※来場の際は、ふかや緑の王国の隣の花植木流通センター駐車場をご利用ください。



▲あかり展



▲紅葉ライトアップ



▲キャンドルナイト

緑の王国クリスマスリース販売

王国ボランティアが手作りしたクリスマスリースおよび花苗の販売を行います。

とき 11月18日(土)10時～正午

ところ ふかや緑の王国 温室内



深谷駅北口ステーションガーデンウィンターイルミネーション

公共花壇のひとつであるJR深谷駅北口ステーションガーデンを、約2万個のLEDで飾り付けます。ボランティアの皆さんにより丁寧に維持管理されている花壇が、暖かい光に包まれて駅前を彩ります。ぜひご覧ください。

とき 11月28日(火)～令和6年1月8日(祝) 日没から

ところ JR深谷駅北口ステーションガーデン



王国の植物紹介動画を公開中!

ふかや緑の王国の植物を紹介する動画が公開中です。ふっかちゃんと一緒に散策した気分が味わえますので、ぜひご覧ください(右記QRコードからアクセス)。



ガーデニング教室参加者募集!

申し込み 11月13日(月) 午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ

手作りクリスマスリースを飾ろう!

とき・ところ 11月30日(木) 午後2時～4時・ふかや緑の王国

定員 先着20人

参加料 2,000円(材料費を含む)

講師 酒井和子氏(フラワー装飾1級技能士)



▲作品イメージ

お正月のしめ縄リースづくり

とき・ところ 12月7日(木) 午前10時～正午・ふかや緑の王国

定員 先着16人

参加料 2,000円(材料費を含む)

講師 善本由紀氏(株日比谷花壇)



▲昨年の作品

12月3日(日)～9日(土)は障害者週間です

☎障害福祉課 (☎571-1011・☎574-6667)

「障害者週間」は、障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会の実現を目指す週間です。障害者の自立および社会参加を促進し、住み慣れた地域で豊かに安心して暮らすことができる環境づくりに、ご協力をお願いします。

障害に関する各種相談などは以下の窓口へ

障害者やその保護者などへの各種相談、情報提供、権利擁護のために必要な援助を行っています。お困りのときは、気軽にご相談ください。

【深谷市障害者基幹相談支援センター-うらら】

(☎551-8777・☎551-8778・境168-1)

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者

相談時間 月～土曜日 午前8時30分～午後5時30分

【相談支援センター-いっきゅう】

(☎577-5524・☎574-6667・仲町11-1 深谷市役所障害福祉課内)

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者

相談時間 月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分

(木曜のみ午後7時15分まで)

【相談支援センター-Yeast(療育相談)】

(☎577-3540・山河1054-1/ハイム松島1階)

対象 発達障害などの障害のある児童

相談時間 月～金曜日 午前9時～午後5時

【地域生活支援センター-向陽】

(☎599-2020・熊谷市石原519-5)

対象 精神障害者

相談時間 月～土曜日 窓口=午前9時～午後5時・

電話=午前9時～午後7時

出張相談(要予約) 毎週木曜日 午後1時30分～4時

30分・掃部寮(深谷城址公園内)

【深谷市障害者虐待防止センター(基幹相談支援センター-うらら内)】

(☎070-3666-1199・境168-1)

虐待に関する通報や相談を受け付けています。

対象 知的障害者、身体障害者、精神障害者、難病患者

相談時間 年中無休・24時間受付

新紙幣 あれこれ



国立印刷局ってどんな所?

国立印刷局は独立行政法人で、「銀行券の製造を行うとともに、銀行券に対する国民の信頼を維持するために必要な情報の提供を行うこと」で通貨制度の安定に寄与する「ものとして法律で定められており、紙幣・切手・パスポート・証券類などの生活に密着した公共性の高い製品の製造や、官報などの政府関係の印刷物の印刷を主に行っています。

国立印刷局の前身は明治4年(1871年)に創設された大蔵省紙幣司(同年8月に紙幣寮と改称)で、創設当初の業務は紙幣の発行、交換、国立銀行の認可・育成など、通貨政策全般です。



▲国立印刷局東京工場(東京都北区西ヶ原) 出典: 国立印刷局ホームページ

※工場見学は事前予約制です。国立印刷局ホームページの「工場見学について」(右記QRコードからアクセス)でご確認ください。



国立印刷局では、工場見学も行っており、紙幣がどのようにしてできるのを見ることができ、新一万円札の発行を機に、見学に行くのも良いかもしれません。

国立印刷局では、工場見学も行っており、紙幣がどのようにしてできるのを見ることができ、新一万円札の発行を機に、見学に行くのも良いかもしれません。

般でした。渋沢栄一は、この紙幣寮の初代長官(紙幣頭)を務めていました。

当時、国内では印刷技術が未熟だったことから、明治政府は近代的な紙幣の製造を外国に依頼しました。

しかし、紙幣は国内で製造すべきという声が強まり、後に紙幣寮によって紙幣国産化が実現されました。それ以来150年近くは、紙幣を始めていた製品を安定的に供給して